

令和4年度第3回鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 会議結果概要

日時	令和5年3月28日(火) 18時00分から19時00分まで
開催場所	鎌倉市役所 全員協議会室(2階)
出席者	<p>[推進委員会委員(名簿順)]</p> <p>○12名出席</p> <p>岸川委員(委員長)、今井委員、林委員、國分委員、笠間委員、八木委員、高橋委員、太田委員、金子委員、橋本委員、府川委員、和田委員</p> <p>[鎌倉市障害者福祉計画推進会議 幹事委員]</p> <p>○6名出席</p> <p>[事務局]</p> <p>○6名出席</p> <p>以上、24名出席</p> <p>[傍聴者]</p> <p>なし</p>
配布資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">・鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員名簿・令和4年度第2回障害者福祉計画推進委員会(書面会議) 会議結果・令和4年度第2回障害者福祉計画推進会議(書面会議) 会議結果・【別添】追加質問・(資料1-1)福祉に関する実態調査結果について(18歳以上)・(資料1-2)福祉に関する実態調査票(18歳以上)・(資料2-1)福祉に関する実態調査結果について(18歳未満)・(資料2-2)福祉に関する実態調査票(18歳未満)・(資料3-1)障害福祉サービス提供実態調査結果について(事業所)

	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料 3-2) 障害福祉サービス提供実態調査票 (事業所) ・(資料 4) 第 4 期鎌倉市障害者基本計画及び第 7 期鎌倉市障害福祉サービス計画策定スケジュール (案)
<p style="text-align: center;">会議概要</p>	<p>○本委員会の成立が確認された。</p> <p>○推進委員会については、鎌倉市障害者福祉計画推進委員会条例施行規則に基づき、公開とする。</p> <p>○各委員の自己紹介</p> <p>○令和 4 年 12 月に書面にて開催した第 2 回鎌倉市障害者福祉計画推進会議及び推進委員会の結果について事務局より報告した。</p> <p>Ⅰ 障害者福祉計画策定に係る実態調査の実施状況について</p> <p>事務局より、(資料 1～3) に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員からの意見等) ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 集計は業者さんに頼んでいるのか。 ・(事務局) <ul style="list-style-type: none"> 委託している。 ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> クロス集計のやり方を依頼することはできるか。それはまだ間に合うか。 ・(事務局) <ul style="list-style-type: none"> クロス集計に関しては、4 月に入ってからでも進めることができると確認している。 ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 改めてメールを送信する。 ・(委員長) <ul style="list-style-type: none"> あまりにもクロス集計が多くなったり、複雑になったりすると予算がかさむことはあるか。 ・(事務局) <ul style="list-style-type: none"> それはない。クロス集計は必要な分だけ行ってもらえることになっている。 ・(委員) <ul style="list-style-type: none"> 先ほどヤングケアラーのお話があったが、お子さんがヤングであるとは限らないと思う。8050 問題の 50 の方もお子さんと呼んでいる場合も大いにあり得ると思うので、その部分もクロス集計で補えるとよいのではと思う。 ・(委員)

<p>会議概要 (続き)</p>	<p>ヤングケアラーの問題は障害者基本計画で議題にするのがよいと思っている。障害福祉サービス計画というのは給付に係る計画のため、なじまない。障害者基本計画の中でどう位置づけるかを考えた方がよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員) <p>私は、資料3-2の事業所のサービス提供実態調査に回答したが、結果だけ見て気になったのは、新規利用者の受入れ状況が全体的にあまり多くないところだ。回答していないところもあったが、そこが今後サービスをどう充足させていくかというところ、市内だけではなく他市の動向も絡んでくるかという辺りをどうクロスさせるか、私も色々考えたいと思う。どう障害のある方のニーズを支えてゆくか、サービスが減っていくことはないと思うので、その部分をどう捉えて考えていくかというところが見えてくると良いと思った。</p> <p>2 次年度の計画策定について</p> <p>事務局より、(資料4)に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(委員からの意見等) ・(委員) <p>サービス利用計画は、国の指針で決まるから、少なくとも今年の2月の社会保障審議会の障害者部会ではほぼ作られる。文言調整して4月か5月に告示で出てくると思う。基本計画の方も改定なので、内閣府から出てくる。委員の皆さまにお配りしたほうが良いと思う。少なくともサービス利用計画はそれに則って作っていく。則るものが何なのか、というのを知らないでこれだけ見せられても、少し困る。もう一点言うと、告示のものは文言であれこれと書いてあるので、一般の人が読むのは大変だ。最終的には告示だが、その前に障害者部会は、A4でテーマなどが書いてあるので、そちらの方が見やすいと思う。ただ、最終的にその文言をどう扱ってどうするか、というのは告示で出てくるので、両方とも出していただきたい。書類はカラーになっているので、白黒でも良いが、カラーの方が見やすい。少しお金がかかるかもしれないが、カラーで配ってほしい。</p> ・(事務局) <p>カラーで準備できるように調整する。</p> ・(委員) <p>こどもの場合はこども家庭庁のものが出ていたが、最終的にどうなるかよく読めないが、少なくともこどもがいて、その中に障害者がいる、という視点になるはずだ。この視点がなければ作っても仕方ない。今までみたいに障害福祉課が扱うと、障害者のこどもがという話になるが、もう少し広くこども全体がある。それで作ってもらえると、教育など色々なつながりが出てくる。こども全体のもので見ていたほうが作りやすいと思う。障害児というのはあまり表に出さず、そういう人がいて、それをこども全体でどういうふうに捉えていけば良いか、という視点が良いと思う。こどもの場合はこどもみらい部で作って、障害のものは障害者のものを作って、お互いに合わせ</p>
----------------------	---

会議概要
(続き)

るほうが良いのではないかと。障害福祉課だけで、障害のあるこどもを取り扱うのは大変難しいと思う。発達支援室は発達支援だけではない。そうして計画書を出してくれるとありがたい。障害福祉課で主管してやるというのは無理なので。国の施策がどうなるかわからないが、いずれにせよ国から県、市に落ちてくるはずなので、方向的にはどうやってもこども全体を見るというのは間違いない。そこはこどもみらい部で引き受けて作ってほしいと思う。今度は計画そのものも業者に頼んでいるのか。

・(事務局)

4月に入ってから入札のものか。

・(委員)

入札をかけるときに、こどもと障害の仕様書を作って投げるのではなくて、障害は障害、こどもはこども、と分けた方が良くと思う。今までみたいに同じ業者にぼんと投げて待っていると、いつまで経ってもきちんとしたものが出てこなくてイライラして文句ばかり言うてしまう。18歳以上の場合と18歳未満、適当に作って終わりなのではないかと思う。仕様書を作るときにそれを念頭に入れておいてほしい。今は障害福祉課、教育委員会、とやっているが、こども全体を見るのであれば、この中にみんな入っている。その位置づけの中で作ってほしい。昔色々な部会、会議を開いて、市役所の人と業者さんが出席していたが、その時にこんなものは受け取れないと怒鳴りつけた。素人に作ってもらったら困る。データ分析は介護と障害は同じ業者に頼んでいるのか。分析の仕方が全く同じだから。安くするのは良いが、出てくるレポートを見ればどこまで能力があるのかわかる。ちゃんと申し送りをしてほしい。

・(委員長)

こどもの計画については障害児という事ではなく、こども全体としてビジョンを描きながら、その中で特に障害ゆえに何かしら困難さがあるところでどうサポートするのが、しっかりと盛り込まれる計画を策定できると良いと考えているので、ご協力をお願いしたい。計画策定のための基礎情報収集では、特に国から出される告示についてはできるだけ早く推進委員会でも情報共有して、そのベースとなる国の指針等を見据えた上で鎌倉市の計画を策定していきたいと思う。議題(2)次年度の計画策定については、よろしければお願いしたスケジュールで進めていきたい。

・(事務局)

今回の推進委員会は令和5年8月上旬頃を予定している。次回は主に令和4年度の実態調査結果の最終報告、また、計画に関する国の指針等を含めた策定方針を主な議題とする予定だ。国からの指針や方針が出たら、8月の会議よりも前に資料を随時共有させていただこうと思う。それを踏まえた上で鎌倉市の方針を8月の会議でお話できればと考えている。開会時期が決定したら、委員長と調整の上、ご案内する。

・(委員)

会議概要 (続き)	<p>サービス計画は出来ると思う。基本計画は5年前に我々が最初に作ったとき、その間にもものすごい切り口で色々なものをどんどん言ってきている。それを織り込んで、整合性が取れるように作らなければいけないと思うが、できるのか。この中に地域福祉も入ってくる、何もかもみんな入ってくる。地域福祉、共生、包括、と色々な切り口が作られている。それを障害者基本計画の中で全部包含して一つの大きな流れとして作っていいのかということだ。実際にやってみたら大変なことだと思う。1業者ができるわけないと思う。鎌倉版なにになに、という形になっていないとまずいと思う。障害者サービス計画はどこでも同じだと思う。同じように作れと言われているわけだから。基本計画は、藤沢のものと鎌倉のものと、茅ヶ崎のものでは違うはずだ。</p> <p>・(委員長)</p> <p>委員がおっしゃったとおりで、まさにこれからのところ、協議会で議論されているところもぜひ推進委員会にもご提案いただいて、やはり鎌倉の地域性というのが特にこれから重要になってくると思う。そういった基本計画が作れるように是非皆さんのお力、お知恵などをお借りできればと思うので、引き続きお願いしたい。これで第3回推進委員会を終了する。これから5年後を想像してみるだけでも、ダイバーシティ、共生型を超えて重層的支援、色々なことがあると思うので、見る目を養いながら進めてまいりたいと思う。</p> <p>以上</p>
--------------	--